

科目	単位	時間	履修学年	講師名
老年看護学概論	1	15	1	岡田 陽子
ねらい	老年期にある対象の特徴を理解し、老年看護の役割を理解する			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 老年期を生きる人々の理解（第2章）①（P.28～76） 1）老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴 2）身体機能の加齢変化 3）老年期の発達課題			講義
2回目	2. 老年期を生きる人々の理解 ② 1）高齢者の感覚器・運動器の疑似体験			講義・演習 グループワーク
3回目	3. 高齢者を取り巻く社会（第1章）（P.2～21） ＊国民衛生の動向持参 4. 超高齢社会を支える高齢者ケアシステム（第3章）（P.86～96） 1）高齢社会対策としての基本施策 2）認知症高齢者施策			講義
4回目	5. 高齢者と家族への看護（第4章）（P.94～112） 1）高齢者を取り巻く家族形態の変化 2）高齢者を介護する家族への支援 3）家族による高齢者虐待			講義
5回目	6. 老年看護領域における倫理的課題と対応（第5章）（P.116～131） 1）高齢者の尊厳を守る看護支援			講義 グループワーク
6回目	2）老年看護領域で遭遇する倫理的課題			
7回目	7. 老年看護の役割（（第1章）（P.12～83） 1）老年看護の概念 2）高齢者のQOLと老年看護 8. 老年看護に活用できる理論（第8章）（P.396～404） 1）主要な要素・概念 2）中範囲理論			講義 グループワーク
7.5回目 (45分)	終講試験			試験
テキスト	老年看護学 概論と看護の実践 第6版 国民衛生の動向（毎年8月に最新のものが出版されます。9月に購入予定です。）			
評価方法	筆記試験（1時間【45分間】：80点）、レポート20点			
備考	老年看護に携わるために必要な基礎知識を得る科目です。加齢変化について、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生活を整えること、超高齢社会の様相、自立と権利を守るための社会制度について学習します。まず、高齢者に関心をもつことから始め、授業前の予習をしておきましょう。			